

政策体系	政策No.	4	政策名	育み磨きあうまちづくり			施策主管課	教育総務課		
	施策No.	1	施策名	学校教育の充実	重点施策		施策主管課長名	東郷 一徳		
施策関係課名	学校教育課、保健体育課、図書館(メディアセンター)、国分中央高校									
<b>1 基本計画期間(平成20年度～平成24年度)における施策の方針</b> 学力の成果水準の指標である「基礎・基本」習得のため、学習内容の充実を図る。また、あいさつをはじめとする心の教育を推進するとともに、運動する時間の確保に努め、体力面の更なる向上を目指す。これらの教育環境を整えるために、教育委員会や学校のみならず、地域や家庭とのよりよい連携づくりに努める。										
<b>2 施策の目的と成果把握</b>										
① 対象 (この施策は、誰、何を対象としているのか)		園児、児童、生徒 ※本施策の対象は、幼小中高校までとする。								
② 対象指標 (対象の大きさを表す指標)		単位	区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	
A	幼稚園児の人数 ※市立、私立	人	見込み値	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	
			実績値	1,830	1,764	1,760	1,754			
B	児童(小学生)の人数 ※市立	人	見込み値	8,121	8,140	8,116	8,132	8,132	8,143	
			実績値	8,125	8,126	8,053	7,821			
C	生徒(中学生、高校生)の人数 ※市立	人	見込み値	4,875	4,746	4,719	4,656	4,609	4,616	
			実績値	4,967	4,898	4,875	4,836			
③ 意図 (この施策によって対象をどう変えるのか)		知・徳・体の調和のとれた成長をする								
④ 成果指標 (意図の達成度を表す指標)		◎目標達成(105%以上) ○目標をほぼ達成(95%～105%未満) △目標を未達成(95%未満)								
		単位	区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	
A	「基礎・基本」が身に付いた児童・生徒(=市立小学校5年生)の割合	%	成り行き値	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0	
			目標値	75.5	76.0	76.5	77.0	77.5	78.0	
			実績値	75.4	72.2	69.0	66.9			
			達成率	100%	95%	90%	87%			
			結果	○	○	△	△			
B	「基礎・基本」が身に付いた児童・生徒(=市立中学校1年生)の割合	%	成り行き値	62.0	62.0	62.0	62.0	62.0	62.0	
			目標値	66.4	66.9	67.4	67.9	68.4	68.9	
			実績値	69.8	66.8	66.0	66.5			
			達成率	105%	100%	98%	98%			
			結果	◎	○	○	○			
C	「基礎・基本」が身に付いた児童・生徒(=市立中学校2年生)の割合	%	成り行き値	64.0	64.0	64.0	64.0	64.0	64.0	
			目標値	65.0	65.5	66.0	66.5	67.0	67.5	
			実績値	66.6	61.3	61.0	65.1			
			達成率	102%	94%	92%	98%			
			結果	○	△	△	○			
D	あいさつができていない児童・生徒(=市立、私立幼稚園+市立小・中・高校児童生徒)の割合	%	成り行き値	76.0	77.0	78.0	79.0	80.0	81.0	
			目標値	77.0	79.0	81.0	83.0	84.0	85.0	
			実績値	76.5	77.5	79.0	89.6			
			達成率	99%	98%	98%	108%			
			結果	○	○	○	◎			
E	柔軟性	cm	成り行き値	38.2	38.2	38.2	38.2	38.2	38.2	
			目標値	38.7	39.2	39.7	40.3	40.9	41.5	
			実績値	39.7	41.2	40.5	39.8			
			達成率	103%	105%	102%	99%			
			結果	○	◎	○	○			
F	持久力	回	成り行き値	55.6	55.6	55.6	55.6	55.6	55.6	
			目標値	56.1	56.6	57.1	57.6	58.1	58.7	
			実績値	58.1	56.2	59.6	59.6			
			達成率	104%	99%	104%	103%			
			結果	○	○	○	○			
⑤ 成果指標の測定方法 (実際にどのように実績を把握するか)		⑥ 平成24年度の目標値設定の考え方								
・A…「基礎・基本」が身に付いた児童・生徒(=市立小学校5年生)の割合 ・B…「基礎・基本」が身に付いた児童・生徒(=市立中学校1年生)の割合 ・C…「基礎・基本」が身に付いた児童・生徒(=市立中学校2年生)の割合 ※小学校5年生、中学校1、2年生を対象として実施している「基礎・基本」定着度調査の結果 ・D…あいさつができていない児童・生徒(=市立、私立幼稚園+市立小・中・高校児童生徒)の割合 ※各学校で実施している道徳性調査(もしくは学校評価)の結果 ・E…柔軟性 ※体力測定結果 ※1年遅れとなり、抽出した学校(小6校・中4校・高校1校)のデータ ・F…持久力 ※体力測定結果(各学校で7月までに実施し、県に報告。12月に取りまとめ結果を入手。 ※1年遅れとなり、抽出した学校(小6校・中4校・高校1校)のデータ		A・「基礎・基本」が身に付いた児童・生徒の割合に関しては、平成24年度までに B 3%増加させ県平均を上回ることを目指す。 C D・あいさつができていない児童・生徒の割合については、声かけ運動未実施校への働きかけを行い10%の成果向上を目指す。 E F・体力測定結果【目標達成は可能である。柔軟性(長座体前屈)・持久力(20mシャトルラン)】目標達成は可能である。はいずれも県内の平均を下回る結果となっていることから、県平均水準を目標として掲げる。								

**3 基本計画期間で解決すべき施策の課題(総合計画書より)**

- ・「基礎・基本」の習得に関しては、児童・生徒の学習意欲を高め、日常的な学習習慣を身に付けるための手立てが必要である。
- ・心の教育に関しては、学校・家庭・地域の関係機関や企業等の連携をさらに進め、児童・生徒の道徳性を高めていく必要がある。また、あいさつに関しては定着化が図られつつあるものの、引き続き地域をあげての声かけ運動を推進する必要がある。
- ・体力面の充実に関しては、学校・家庭・地域で運動する機会をさらに設ける手立てを講じる必要がある。
- ・地域の特色を活かした教育活動を展開するとともに、学校間の交流を推進していく必要がある。
- ・児童・生徒が常に適切な環境の下で教育を受けられるよう、学校教育施設の整備や耐震化、教育備品の整備を行う必要がある。
- ・児童数の増加に伴う学校規模の過大化に対応するため、大規模校の分離新設を進める必要がある。

**4 施策の特性・状況変化・住民意見等**

**① この施策の役割分担をどう考えるか(協働による市民と行政の役割分担)**

ア) 行政の役割 (市がやるべきこと、県がやるべきこと、国がやるべきこと)	イ) 市民(住民、事業所、地域、団体等)の役割
<p>■学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適正な指導により、児童・生徒の学力・道徳性・体力の向上を図る。地域や保護者に学校活動を公開する。</li> </ul> <p>■教育委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員への指導・助言により、資質の向上を図る。</li> <li>・教育環境の整備。</li> </ul> <p>■文部科学省</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育基本法の改正。</li> <li>・学習指導要領の改訂と学校への支援。</li> <li>・小中学校の耐震化の推進。</li> </ul>	<p>■家庭</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習の習慣化。</li> <li>・あいさつの励行。</li> <li>・一家庭一家訓の実施。</li> <li>・運動の習慣化。</li> </ul> <p>■地域、コミュニティ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域における子ども達への声かけの励行。</li> <li>・学校・地域の各種行事への参加。</li> </ul>

**② 施策を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどのように変化しているか、更に今後どう変化するか?**

- ・児童生徒数の増減が地域によって異なることが予想される。
- ・教育基本法改正によって教員の資質向上を更に図る必要がある。
- ・東日本大震災の発生により、学校施設の防災拠点としての機能充実に求められている。
- ・学校教育に関する地域や保護者の関心がいっそう高まる。
- ・地震対策特別措置法の改正によって学校の耐震化をさらに進める必要がある。

**③ この施策に対して市民(対象者、納税者、関係者等)、議会からどのような意見や要望が寄せられているか?**

- ・心の教育の推進、学力向上をさらに図るべきとの声が上がっている。
- ・より適切な教育環境の整備が求められている。
- ・国分中央高校スポーツ健康科の充実のために、施設整備を積極的に進めるべきだという意見がある。(議会)
- ・特別支援教育など個のニーズに応じた指導の充実を求める声が上がっている。

**5 施策の現状**

① 平成22年度施策の取組方針	② 平成22年度施策の取組方針の達成状況
<p>ア:各学校の実態に応じた指導方法の工夫改善や指導形態(少人数、習熟度別指導など)の工夫に努める。</p> <p>イ:学校の耐震化率を100%にする。</p> <p>ウ:国分中央高校卒業生の進路決定率を高める。</p> <p>エ:新学習指導要領で規定された中学校武道必修化に対応するため、施設の整備をする。(平成24年度から完全実施)</p> <p>オ:老朽化した給食備品等を整備して、安心安全な学校給食を提供する。</p> <p>カ:計画的な学校施設整備を継続して実施していく。</p> <p>キ:生徒の通学時の安全対策を講じる。</p> <p>ク:国分中央高校学科再編に対応した施設・設備の充実を図る。</p>	<p>ア:各学校ごとの学力向上プランを改善させ、それに基づいた指導方法改善に努めた。</p> <p>イ:小中学校については、耐震化率100%を達成した。</p> <p>ウ:就職支援員を引き続き配置したことで、新規求人企業の開拓と企業情報を収集できた。</p> <p>エ:備品の不足している中学校について、柔道畳や剣道の防具を購入した。</p> <p>オ:給食運搬車の更新、食器等の買い替えを行うなど、安心安全な給食の提供に努めた。</p> <p>カ:年次計画に基づいて整備を進めた。</p> <p>キ:通学路について関係課と協議し、児童生徒が安心安全に通学できるよう、横断歩道の設置などを働きかけた。</p> <p>ク:スポーツ健康科開設に向け、トレーニング機器を整備した。</p>

**③ 平成22年度施策の目標値と実績値の比較**

- 目標達成 ○ 105%以上
- 目標をほぼ達成 ○ 95%~105%未満
- 目標を未達成 △ 95%未満

平成22年度成果指標				結果
	目標値	実績値	達成率	
A	77.0	66.9	87%	△
B	67.9	66.5	98%	○
C	66.5	65.1	98%	○
D	83.0	89.6	108%	◎
E	40.3	39.8	99%	○
F	57.6	59.6	103%	○

**④ 平成22年度施策の成果指標の達成状況及び要因**

- ・「基礎・基本」が身に付いた児童・生徒の割合は、調査対象の小学校5年生はH19年度以降毎年数値が下がっているが、中学校1年生は0.5ポイント、中学2年生は4.1ポイント上がっており、中学校においては、例年に比べて改善傾向にある。その要因としては、中学校の校内研修への指導主事の計画的・意図的派遣や中学校学力向上総合プランにおいて、授業を通じた校内研修が充実し、授業力の向上が図られつつあることが考えられる。
- ・あいさつができていない児童・生徒は、H21年度までは年々向上しているものの目標値を達成していなかったが、H22年度は目標値を6.6ポイント上回っている。その要因としては、学校内外における児童会や生徒会、PTA等と連携した計画的・積極的な「あいさつ運動」が浸透しつつあることが伺える。
- ・柔軟性は前年度から0.7ポイント減少し、目標値も0.5ポイント下回った。その要因としては、現在取り組んでいる一校一運動が、縄跳びやかけ足などの持久力に繋がるような運動になっていることが考えられる。
- ・持久力は前年度と同じ値で、目標値を2ポイント上回っている。各学校で取り組んでいる一校一運動の成果ではないかと考えられる。

**⑤ 基本事業の**

目標達成度 (平成22年度目標と実績との比較)	○=すべての目標値を達成 △=一部の目標値を達成 ×=すべての目標値を未達成			
	① 学力の向上と個性を育む教育の推進(国際理解教育、情報教育の推進)	△	⑤ 教育環境の整備	△
	② 心の教育の推進(特別支援教育の推進を含む)	△	⑥ 幼稚園教育の推進	○
	③ 体育・保健指導の充実	×	⑦ 高等学校教育の推進	○
	④ 特色ある教育活動と開かれた学校づくり	○	⑧	

**6 平成23年度の施策の取組方針 (昨年度マネジメントシートより)**

- ア:中学校における進路指導の充実
- イ:市立高校・若駒分校まで含めた学校施設の耐震化率を100%にする。
- ウ:国分中央高校卒業生の進路決定率向上
- エ:中学校武道必修化に対応した備品の整備
- オ:市全体の給食施設整備計画の検討
- カ:計画的な学校施設の整備
- キ:通学路の安全確保と通学時の安全対策
- ク:国分中央高校スポーツ健康科の施設整備

**7 平成24年度に向けた施策の課題・方向性**

- ・夢や目標を育む「生き方指導」を充実させるため、中学校における進路指導の一層の推進を図る。
- ・国分中央高校の耐震化のための校舎改築を行う。
- ・国分中央高校を魅力ある専門高校とするために、引き続き卒業生の進路決定率を高める。
- ・安心安全な給食を児童生徒に届けるために、老朽化した給食施設の整備を進める。
- ・安心安全な教育環境を確保するために、校舎等の大規模改造工事を継続して実施するとともに、学校の周囲の急傾斜地対策を検討する。
- ・児童・生徒が安全に通学できるよう、引き続き関係機関との連携を強化する。
- ・国分中央高校スポーツ健康科を魅力ある学科に育てるために、計画的に必要な施設、設備の整備を進める。

基本事業No.	4-1-1	基本事業名	学力の向上と個性を育む教育の推進(国際理解教育、情報教育の推進)	基本事業 主担当課	学校教育課
---------	-------	-------	----------------------------------	--------------	-------

1 基本事業の目的、取組み方針					
①基本計画期間における取組み方針（総合計画書より）					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程を見直し、学力の「基礎・基本」を定着させる取組みを行う。</li> <li>・少人数指導や習熟度別指導などの実施を通じて授業をより一層充実させるとともに、適切な補充指導を行う。</li> <li>・学級活動や総合的な学習の時間を、より効果的に活用していく。</li> <li>・教職員の資質の向上を図るために、教科指導力向上の研修への積極的な参加を推進する。</li> <li>・ALT(英語圏の外国語指導助手)派遣体制の充実を図る。</li> <li>・メディアセンターとの連携による情報教育の推進を行う。</li> <li>・家庭との連携を深め、家庭学習の充実を図る。</li> </ul>					
②対象	・児童・生徒 ・教職員	③意図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎・基本が身に付く。</li> <li>・個に応じた指導が受けられる。</li> <li>・教職員の指導力が身につく。</li> </ul>		

2 基本事業の指標等の推移		◎目標達成(105%以上)		○目標をほぼ達成(95%~105%未満)		△目標を未達成(95%未満)			
①成果指標名	単位	②成果指標の測定方法	③数値区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度 (目標年)
A 授業が楽しい、分かりやすいと回答した児童・生徒の割合	%	・小学校:標準学力検査(CRT)の質問項目より ・中学校:学習適正検査(AAI)の質問項目より	成り行き値	69.0	69.0	69.0	69.0	69.0	69.0
			目標値	69.0	70.0	71.0	72.0	73.0	74.0
			実績値	72.0	77.9	74.0	73.6		
			達成率	104%	111%	104%	102%		
			結果	○	◎	○	○		
B 基礎・基本が身についた児童・生徒の割合(=市立小学校5年生の割合)	%	基礎・基本定着度調査	成り行き値	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0
			目標値	75.5	76.0	76.5	77.0	77.5	78.0
			実績値	75.4	72.2	69.0	66.9		
			達成率	100%	95%	90%	87%		
			結果	○	○	△	△		
C 基礎・基本が身についた児童・生徒の割合(=市立中学校1年生の割合)	%	基礎・基本定着度調査	成り行き値	62.0	62.0	62.0	62.0	62.0	62.0
			目標値	66.4	66.9	67.4	67.9	68.4	68.9
			実績値	69.8	66.8	66.0	66.5		
			達成率	105%	100%	98%	98%		
			結果	◎	○	○	○		
D 基礎・基本が身についた児童・生徒の割合(=市立中学校2年生の割合)	%	基礎・基本定着度調査	成り行き値	64.0	64.0	64.0	64.0	64.0	64.0
			目標値	65.0	65.5	66.0	66.5	67.0	67.5
			実績値	66.6	61.3	61.0	65.1		
			達成率	102%	94%	92%	98%		
			結果	○	△	△	○		

3 基本計画期間における基本事業の目標設定の根拠	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・県が毎年実施している「基礎・基本」定着度調査を基にしながら、前年度よりも学力が向上していくよう取り組む。</li> <li>・児童・生徒の学力の実態把握に努め、児童・生徒の実態に応じた指導方法の工夫改善に取り組む。</li> <li>・クラスを少人数に分けて指導する少人数指導、習熟の程度に応じて学習する習熟度別指導を充実させていくことにより、楽しい、分かりやすい授業を目指す。</li> </ul>	

4 平成22年度基本事業の取組方針	5 平成22年度基本事業の取組方針の達成状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>ア:「基礎・基本」定着度調査など諸検査の分析と活用</li> <li>イ:「学力向上プラン」の作成とプランの実施</li> <li>ウ:「家庭学習のしおり」等を活用した学習習慣の確立</li> <li>エ:「小6・中1かけはしプラン」支援員の積極的な活用と連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ア:49校に諸検査の分析と活用を指導するとともに、市全体の基礎基本定着度調査等の結果を基に、各学校の実態に応じた指導を行った。</li> <li>イ:学校全体として取り組む学力向上プランを作成させ、学力向上担当者訪問を実施した。</li> <li>ウ:「家庭学習のしおり」等の見直し・改善を指示し、「家庭学習60・90運動」(家庭で小学校は60分、中学校は90分の学習を奨励する運動)の推進に努めた。</li> <li>エ:支援員を配置し、小学校から中学校への進学時の不安解消に努めた。</li> </ul>

6 平成22年度基本事業の成果指標の達成状況及び要因	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業が楽しい、分かりやすいと回答した児童・生徒の割合は平成22年度の目標値を達成し、前年度とほぼ同水準である。その要因としては、各学校における指導方法改善の取組が充実しつつあることが考えられる。</li> <li>・「基礎・基本」が身についた児童・生徒の割合は、調査対象の小学校5年生・中学校1年生は平成19年度以降毎年数値が下がっているが、中学校2年生は目標値は達成していないものの昨年より4.1ポイント上がっている。その要因としては中学校学力向上総合プランにおいて、授業を通じた校内研修が充実し、授業力の向上が図られつつあることが考えられる。</li> </ul>	

7 平成23年度基本事業の取組方針	8 平成24年度に向けた基本事業の課題・方向性
<ul style="list-style-type: none"> <li>ア:「学力向上プラン」の作成と実践</li> <li>イ:小中連携の推進と校内研修の充実</li> <li>ウ:中学校における進路指導の充実</li> <li>エ:小学校における外国語活動の一層の推進</li> <li>オ:「家庭学習のしおり」等を活用した学習習慣の確立</li> <li>カ:「小6・中1かけはしプラン」支援員の積極的な活用と連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力の「基礎・基本」を定着させるため、少人数指導や習熟度別指導などを行う。</li> <li>・分かりやすい授業を展開するため、電子黒板やデジタル教科書を効果的に活用する(メディアセンターとの連携を強化)。</li> <li>・夢や目標を育む「生き方指導」を充実させるため、中学校における進路指導の一層の推進を図る。</li> <li>・小学校における外国語活動の一層の推進を図るため、支援員の追加配置と効果的な活用を図る。</li> <li>・家庭学習の充実を図るため、家庭との連携を深めながら、小中学校における「家庭学習60・90運動」を推進する。</li> </ul>

基本事業No.	4-1-2	基本事業名	心の教育の推進(特別支援教育の推進を含む)	基本事業 主担当課	学校教育課
---------	-------	-------	-----------------------	--------------	-------

1 基本事業の目的、取組み方針					
①基本計画期間における取組み方針（総合計画書より）					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつをはじめ、道徳性の向上に努める。</li> <li>・いじめ、不登校の解消を目指す積極的な生徒指導を推進する。</li> <li>・読書活動、学校図書館の充実を図る。</li> <li>・児童会活動、生徒会活動を推進する。</li> <li>・特別支援教育に関する研修を実施し、教職員の資質の向上を図る。</li> <li>・高齢者施設、介護施設等への訪問を通し、ボランティア活動を推進する。</li> </ul>					
②対象	・児童 ・生徒	③意図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規範意識や他人を思いやる心、正義感など豊かな人間性を育む。</li> <li>・あいさつをはじめとする基本的な生活習慣が身につく。</li> </ul>		

2 基本事業の指標等の推移		◎目標達成(105%以上)		○目標をほぼ達成(95%~105%未満)		△目標を未達成(95%未満)			
①成果指標名	単位	②成果指標の測定方法	③数値区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度 (目標年)
A 不登校の児童生徒数	人	生徒指導月例報告	成り行き値	115	115	115	115	115	115
			目標値	105	95	85	80	75	70
			実績値	127	80	78	91		
			達成率	79%	116%	108%	86%		
			結果	△	◎	◎	△		
B 学校が楽しいと回答した児童・生徒数	%	CRT検査 学校評価	成り行き値	69.0	69.0	69.0	69.0	69.0	69.0
			目標値	69.0	70.0	71.0	72.0	73.0	74.0
			実績値	72.0	77.9	74.0	88.4		
			達成率	104%	111%	104%	123%		
			結果	○	◎	○	◎		
C あいさつができていない児童・生徒の割合	%	道徳性調査 学校評価	成り行き値	76.0	77.0	78.0	79.0	80.0	81.0
			目標値	77.0	79.0	81.0	83.0	84.0	85.0
			実績値	77.0	82.0	79.0	89.6		
			達成率	100%	104%	98%	108%		
			結果	○	○	○	◎		

3 基本計画期間における基本事業の目標設定の根拠
学校とスクールカウンセラー、心の教育相談員、関係機関等との連携を深めながら、特に中学校の不登校生徒数を平成24年度までに、H18年度対比45名以上減らしたい。 (あいさつができていない児童・生徒の割合に関しては、施策の成果指標と共通。)

4 平成22年度基本事業の取組方針	5 平成22年度基本事業の取組方針の達成状況
ア:「いじめ問題を考える週間」の取組の充実 イ:教育支援センターや関係機関との緊密な連携 ウ:スクールカウンセラー等との密接な連携や個別支援計画の作成と支援チームによる対応の推進 エ:小・中学校間の計画的、定期的な情報交換の推進 オ:「小6・中1かけはしプラン」支援員の積極的な活用と連携	ア:毎学期はじめ、「いじめ問題を考える週間」を設定し、いじめに関するアンケートを実施するとともに、道徳や学級活動の時間に指導を行った。 イ:不登校状況を改善するために、毎月相談員等と情報交換を行い、教育支援センターや関係機関と連携して、きめ細かい指導に努めた。 ウ:不登校生ひとりひとりへの支援計画を基に、スクールカウンセラーと連携した対応を行った。 エ:毎学期、生徒指導の情報交換会を実施し、小・中間の連携強化に努めた。 オ:支援員を配置し、小学校から中学校への進学時の不安解消に努めた。

6 平成22年度基本事業の成果指標の達成状況及び要因
<ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校の児童生徒数については平成21年度と比較して13人増加し、目標値を11人下回った。その要因としては、相談員の充実などあらゆる手立てを講じてはいるが、実績値の伸びに対してその対策が追いついていないことが考えられる。</li> <li>・学校が楽しいと回答した児童・生徒数については平成21年度と比較して14.4ポイント増加し、目標値を16.4ポイント上回った。その要因としては、個々の子どもが大切にされる教育が推進されつつあり、子どもたちの学校生活が充実しているということが考えられる。</li> <li>・あいさつができていない児童・生徒の割合については平成21年度と比較して10.6ポイント増加し、目標値も6.6ポイント上回った。その要因としては、各学校のあいさつ運動が浸透しつつあることが伺える。</li> </ul>

7 平成23年度基本事業の取組方針	8 平成24年度に向けた基本事業の課題・方向性
ア:学校内外における「あいさつ運動」の積極的な推進 イ:いじめ・不登校の未然防止と早期対応 ウ:朝読書の充実による継続的な読書活動の推進 エ:「きりしま」の自然と文化を大切に教育活動の推進 オ:特別教育支援員を活用した校内支援体制の構築と充実 カ:「一校一音自慢」運動の推進(音楽のある学校づくり、感性の教育の充実)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校だけでなく、PTAや地域ぐるみのあいさつ運動を一層推進する。</li> <li>・子どもサポート相談員やスクールカウンセラーを活用し、特に中学校の支援体制の充実を推進する。</li> <li>・読書の習慣を定着させるため、朝読書や親子20分間読書運動など、家庭と連携した一層の読書活動を推進・奨励する。</li> <li>・特別支援教育の充実を図るため、市全体としての支援体制を見直し、児童・生徒の実態把握と指導に努めるとともに、支援員を活用した校内支援体制の充実を努める。</li> <li>・感性の教育を充実させるため、音楽のある学校づくりや「小・中学校音楽のつどい」の更なる充実を努める。</li> </ul>

基本事業No.	4-1-3	基本事業名	体育・保健指導の充実	基本事業 主担当課	保健体育課
---------	-------	-------	------------	--------------	-------

**1 基本事業の目的、取組み方針**

①基本計画期間における取組み方針（総合計画書より）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育の実技時間を確保し、授業の充実に努める。</li> <li>・一校一運動（体力づくり）を推進する。</li> <li>・歯みがき週間等を通じて自主性を育て、疾病の予防につながるような保健指導を行う。</li> <li>・学校給食を中心とする食育の充実に努め、望ましい基本的な食生活習慣を身につけていくように取り組む。</li> </ul>	
②対象	・児童 ・生徒
③意図	・健康な体が育つ。 ・自分自身の健康管理ができるようになる。

**2 基本事業の指標等の推移** ◎目標達成(105%以上) ○目標をほぼ達成(95%~105%未満) △目標を未達成(95%未満)

①成果指標名	単位	②成果指標の測定方法	③数値区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度 (目標年)
				成り行き値	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
A 健康診断で要注意・要治療となった児童・生徒の割合	%	・結核精密検査 ・腎臓二次検診 ・小児生活習慣病検査	目標値	4.0	4.0	4.0	3.0	3.0	3.0
			実績値	5.0	4.0	4.0	6.0		
			達成率	75%	100%	100%	0%		
			結果	△	○	○	△		
			成り行き値			4.0	4.0	4.0	4.0
B 新体力テスト(8種目)において県平均を超えた種目数(小5・中2)	種目	新体力テストの結果	目標値			4.0	4.5	5.0	5.5
			実績値			4.0	4.0		
			達成率			100%	89%		
			結果			○	△		
			成り行き値						
C			目標値						
			実績値						
			達成率						
			結果						
			成り行き値						

**3 基本計画期間における基本事業の目標設定の根拠**

・健康診断で要注意・要治療となった児童・生徒の割合については、3年間(H19~H21)で1%の減を目標とし、H24年度までに2%の減を達成することを目指す。  
 ・新体力テストの結果が全8種目のうち、学校平均で4.0種目しか県平均を上回っていないため、平成24年度までに5.5種目の平均値上昇を目指す。

**4 平成22年度基本事業の取組方針**

ア:一校一運動(体力づくり)の推進  
 イ:体育の授業、体育的行事への取組みの充実  
 ウ:「早寝・早起き・朝ごはん運動」の推進  
 エ:基本的生活習慣の確立  
 オ:部活動の充実  
 カ:食育の推進

**5 平成22年度基本事業の取組方針の達成状況**

ア:全校で取り組む種目を決めたり、小規模校では全児童が一輪車に乗れるようになるなど、授業や授業以外の時間を活用して体力づくりを推進した。  
 イ:体育の授業の充実については、研究授業や実技研修による指導方法の改善を行った。体育的行事は、職員研修等での共通理解を基に、目標達成に向けて取り組んだ。  
 ウ:PTAと協力して「早寝・早起き・朝ごはん運動」を推進したが、アンケート調査の結果、中学校で朝食をとらない児童・生徒が増える傾向にある。  
 エ:夏休みなどに日課表の作成を奨励し、基本的生活習慣の確立に努めた。  
 オ:一部の学校では、生徒全員がいずれかの部に所属するよう奨励するなど、積極的に加入することを進めた。  
 カ:栄養教諭を学校に派遣して、地産地消の推進と、家庭と連携した望ましい食生活の定着を図った。

**6 平成22年度基本事業の成果指標の達成状況及び要因**

・健康診断で要注意・要治療となった児童・生徒の割合に関しては、平成21年度の実績と比較し2ポイント増加し、目標値を3ポイント下回った。その要因としては、腎臓二次検診の対象者が増えたことが考えられるとともに、家庭での食生活の乱れにより、小児生活習慣病の可能性のある児童が増えていることがあげられる。  
 ・新体力テスト(8種目)において県平均を超えた種目数については、目標値を0.5ポイント下回ったが、平成21年度実績と同じ4ポイントを維持した。その要因としては、全校で一校一運動に取り組むなど、児童生徒の体力向上に努めたことが考えられる。

**7 平成23年度基本事業の取組方針**

ア:自他の生命尊重を基盤とした学校安全の充実  
 イ:学校給食施設整備の在り方検討  
 ウ:就学時健診、定期健康診断の結果を踏まえた保健指導の充実  
 エ:家庭と連携した望ましい食生活の定着化  
 オ:一校一運動(体力づくり)の推進

**8 平成24年度に向けた基本事業の課題・方向性**

・安全な学校生活を送らせるために、「子どもたちの安全確保のために」の積極的な活用を図る。  
 ・安心安全な給食を児童生徒に届けるために、老朽化した給食施設の整備を進める。  
 ・児童生徒の健康な体を育むために、二次検診や三次検診の適切な受診を促す。  
 ・小児生活習慣病等を予防するため、家庭での食生活の栄養バランスについての積極的指導を行う。  
 ・児童生徒の体力を向上させるために、学校の実態に応じた一校一運動(体力づくり)の推進や教科体育の指導を充実する。

基本事業No.	4-1-4	基本事業名	特色ある教育活動と開かれた学校づくり	基本事業 主担当課	学校教育課
---------	-------	-------	--------------------	--------------	-------

1 基本事業の目的、取組み方針	
①基本計画期間における取組み方針（総合計画書より）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校が行う取組みに対しての自己点検・自己評価の推進と結果の公表を行う。</li> <li>・学校評議員制度を効果的に活用するとともに、学校関係者評価の充実を図る。</li> <li>・特認校制度や山村留学制度など、地域の特色を活かした学校づくりを進める。また、地域で活躍している人々に学校教育活動へ参加していただき、培ってきた知識や経験を教材として活用する取組みを行う。</li> <li>・地域が育む「かごしまの教育」県民週間(11月)中の、学校開放等の取組みをより充実させる。</li> <li>・郷土の自然・歴史・文化(方言)・伝統芸能を大切にされた教育活動を推進する。</li> <li>・家庭と連携した学校教育の推進に努める。</li> </ul>	
②対象	学校・家庭・地域
③意図	地域の教育力を学校教育に活用する。

2 基本事業の指標等の推移		◎目標達成(105%以上)		○目標をほぼ達成(95%~105%未満)					△目標を未達成(95%未満)	
①成果指標名		単位	②成果指標の測定方法	③数値区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度 (目標年)
A	学校・家庭・地域と連携して教育活動を行った学校の割合	%	学校評価	成り行き値	87.0	87.0	87.0	87.0	87.0	87.0
				目標値	88.0	89.0	90.0	91.0	92.0	93.0
				実績値	87.0	89.0	89.5	91.0		
				達成率	99%	100%	99%	100%		
				結果	○	○	○	○		
B				成り行き値						
				目標値						
				実績値						
				達成率						
				結果						
C				成り行き値						
				目標値						
				実績値						
				達成率						
				結果						

3 基本計画期間における基本事業の目標設定の根拠	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評議員制度を効果的に活用し、学校関係者評価の充実を図る。また、学校が行う取組みに対しての自己点検・自己評価の推進と結果の公表を行い、学校運営の改善を目指す。</li> <li>・特認校制度や山村留学制度など、地域の特色を活かした学校づくりを進める。また、地域で活躍している人々に学校教育活動へ参加していただき、培ってきた知識や経験を教材として活用する取組みを行う。</li> <li>・地域が育む「かごしまの教育」県民週間(11月)中の、学校開放等の取組みをより充実させる。</li> <li>・郷土の自然・歴史・文化(方言)・伝統芸能を大切にされた教育活動を推進する。</li> <li>・家庭と連携した学校教育の推進に努める。</li> </ul>	

4 平成22年度基本事業の取組方針	5 平成22年度取組方針の達成状況
<p>ア:学校評議員の活用と学校運営の改善と発展を目指す学校関係者評価の推進</p> <p>イ:きりしまの自然と文化を大切にされた教育活動の推進</p> <p>ウ:「ふるさと達人支援プラン」による地域の優れた人材の積極的な活用</p> <p>エ:「マイ・スクール・プランニング事業」の推進</p>	<p>ア:学校運営の改善を目指し、各学校で学校関係者評価等を実施するとともに、学校評議員の積極的な活用を図ることが出来た。</p> <p>イ:ジオパークに関する学習の充実を図るため、副教材「ふるさとの山霧島山」を各学校に配布し、教科や総合的な学習の時間等で積極的に活用した。</p> <p>ウ:伝統芸能(太鼓演奏、昔遊び、鯛車製作)や米作りの体験活動の指導等に、地域の優れた人材を活用した。</p> <p>エ:小規模校の集合学習や学校間連携等、特色ある教育活動が実践できた。</p>

6 平成22年度基本事業の成果指標の達成状況及び要因
<p>学校・家庭・地域と連携して教育活動を行った学校の割合については、平成21年度と比較して1.5ポイント上昇し、目標値を達成した。その要因としては、学校評議員制度の充実や、地域の人材活用が効果的に行われていることが考えられる。</p>

7 平成23年度基本事業の取組方針	8 平成24年度に向けた基本事業の課題・方向性
<p>ア:学校運営の改善と発展を目指す学校関係者評価の実施</p> <p>イ:霧島ジオパークに関する学習の充実</p> <p>ウ:体験活動や学校間連携の推進</p> <p>エ:地域の優れた人材の積極的な活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開かれた学校づくりを推進するために、学校関係者評価結果の積極的な公表に努める。</li> <li>・霧島ジオパークに関する学習をさらに充実するために、副教材「ふるさとの山霧島山」の積極的な活用や、ジオガイドを活用した登山等を奨励する。</li> <li>・地域の特色を活かした学校づくりを進めるために、地域の人材を活用した体験活動や、学校間連携の一層の推進に努める。</li> </ul>

基本事業No.	4-1-5	基本事業名	教育環境の整備	基本事業 主担当課	教育総務課
---------	-------	-------	---------	--------------	-------

**1 基本事業の目的、取組み方針**

<b>①基本計画期間における取組み方針（総合計画書より）</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震発生時に児童・生徒等の安全を確保するために、できるだけ早期に全ての学校教育施設が耐震基準を満たすよう、必要な改修を行う。</li> <li>・児童・生徒が常に適切な環境の下で教育が受けられるよう、学校教育施設（給食センター含む）や教育備品の整備に努めるとともに、大規模校等においては仮設教室の解消を目指す。</li> <li>・教育に係る経済的負担の軽減を図るため、小・中学校保護者の所得状況に応じた就学費援助を行う。</li> <li>・地理的な理由から遠距離通学を余儀なくされたり、安全面において通学支援制度の利用が必要な児童・生徒に対しては、公共交通機関の整備状況などを勘案し、最適な通学手段を確保する。</li> </ul>	
<b>②対象</b>	・児童・生徒・教職員・学校の施設・設備・制度
<b>③意図</b>	・適切な教育環境で教育が受けられる。（教育環境が整う） ・教育を受ける機会が確保される。

**2 基本事業の指標等の推移** ◎目標達成(105%以上) ○目標をほぼ達成(95%~105%未満) △目標を未達成(95%未満)

①成果指標名		単位	②成果指標の測定方法	③数値区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度 (目標年)
A	耐震基準を満たした学校施設の割合	%	文部科学省調査	成り行き値	54.0	54.0	54.0	54.0	54.0	54.0
				目標値	60.0	70.0	80.0	90.0	95.0	100.0
				実績値	71.0	84.0	90.0	99.5		
				達成率	118%	120%	113%	111%		
				結果	◎	◎	◎	◎		
B	十分な環境が整っている学校の割合	%	備品台帳	成り行き値	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0
				目標値	96.0	96.0	100.0	100.0	100.0	100.0
				実績値	96.0	96.0	96.0	97.0		
				達成率	100%	100%	96%	97%		
				結果	○	○	○	○		
C	教材備品等の充足率	%	備品台帳	成り行き値	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
				目標値	90.0	91.0	91.0	92.0	92.0	93.0
				実績値	90.0	91.0	91.0	92.0		
				達成率	100%	100%	100%	100%		
				結果	○	○	○	○		
D	不足教室のない学校の割合	%	施設台帳による確認	成り行き値	83.0	81.0	85.0	83.0	85.0	87.0
				目標値	83.0	81.0	85.0	90.0	92.0	100.0
				実績値	83.0	87.0	87.0	98.8		
				達成率	100%	107%	102%	110%		
				結果	○	◎	○	◎		
E	経済的支援を受けた児童・生徒の人数	人	管理台帳による	成り行き値	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
				目標値	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
				実績値	1,193	1,348	1,523	1,638		
				達成率	99%	112%	127%	137%		
				結果	○	◎	◎	◎		
F	遠距離通学支援制度（スクールバス、定期代補助等）を利用している児童・生徒数	人	管理台帳による	成り行き値	338	338	338	338	338	338
				目標値	340	342	344	346	348	350
				実績値	311	290	278	241		
				達成率	91%	85%	81%	70%		
				結果	△	△	△	△		

**3 基本計画期間における基本事業の目標設定の根拠**

国交省の耐震改修促進に関する法律によると、耐震基準を満たした学校数の目標値が平成27年度までに100%である。その目標に向けて平成24年度は100%を目標としたい。同時に教室数についても、平成24年度には不足数「ゼロ」を目指す。一方ソフト面においては、各分野における人的配置や備品等の整備率、各種助成制度などを適正な水準にもっていきたい。

**4 平成22年度基本事業の取組方針** **5 平成22年度基本事業の取組方針の達成状況**

小、中学校の耐震補強工事を行い、安全な学校づくりを推進する。	・耐震補強工事を行い、全ての学校の耐震化が完了した。併せて、年次計画に沿った校舎等の大規模改造工事を行った。
--------------------------------	--

**6 平成22年度基本事業の成果指標の達成状況及び要因**

・十分な環境が整っている学校の割合と、遠距離通学支援制度を利用している児童・生徒数を除き、目標値を達成している。目標値を下回った項目の要因であるが、環境が整っている割合は、耐震化をはじめとした学校施設の整備や不足教室の解消は進んでいる半面、近年の地球温暖化に伴う夏場の暑さ対策等、設備面において児童、生徒が満足していない部分があるものと推測される。

**7 平成23年度基本事業の取組方針** **8 平成24年度に向けた基本事業の課題・方向性**

ア: 年次計画に基づく学校施設整備 イ: 学校の安全確保対策施設改修等 ウ: 小学校の新学習指導要領完全実施に伴う教材備品の整備	・安心安全な教育環境を確保するため、引き続き学校施設等の整備を進める。 ・学校の周囲の急傾斜地等対策を進めるため、関係部局との連携を推進する。 ・中学校の進学指導要領完全実施に伴う教材備品の整備を図る。
--	---

基本事業No.	4-1-6	基本事業名	幼稚園教育の推進	基本事業 主担当課	学校教育課
---------	-------	-------	----------	--------------	-------

**1 基本事業の目的、取組み方針**

①基本計画期間における取組み方針（総合計画書より）

・望ましい教育課程を編成し、家庭と連携しながら基本的な生活習慣や集団行動を身につけさせるため、しつけを徹底する。  
 ・幼稚園教育研修会、幼稚園・小学校連携研修会の充実を図る。  
 ・評議員制度を効果的に活用し、学校関係者評価の充実を図る。

②対 象 園児（3～5歳児）

③意 図 基本的なしつけや集団行動が身に付く。

**2 基本事業の指標等の推移** ◎目標達成(105%以上) ○目標をほぼ達成(95%～105%未満) △目標を未達成(95%未満)

①成果指標名		単位	②成果指標の測定方法	③数値区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度 (目標年)
A	基本的なしつけや集団行動が身に付いた園児の割合	%	学校(園)評価	成り行き値	81.0	81.0	81.0	81.0	81.0	81.0
				目標値	81.0	83.0	85.0	87.0	89.0	91.0
				実績値	82.9	87.3	86.0	88.0		
				達成率	102%	105%	101%	101%		
				結果	○	◎	○	○		
B				成り行き値						
				目標値						
				実績値						
				達成率						
				結果						
C				成り行き値						
				目標値						
				実績値						
				達成率						
				結果						
D				成り行き値						
				目標値						
				実績値						
				達成率						
				結果						

**3 基本計画期間における基本事業の目標設定の根拠**

基本的なしつけや集団行動が身に付いた園児数を5年間で10%以上増やしたい。

**4 平成22年度基本事業の取組方針**

ア: 幼稚園研修会、幼稚園長研修会等の充実  
 イ: 保育園、幼稚園、小学校との連携研修会の充実  
 ウ: 幼稚園の実態に応じた基本的なしつけや集団行動の育成

**5 平成22年度基本事業の取組方針の達成状況**

ア: 年2回の幼稚園教諭研修会を開催するとともに、小・中学校校長研修会と幼稚園長の合同研修会を実施した。  
 イ: 「これからの幼・保・小連携のあり方」をテーマに、年1回の研修会を実施した。  
 ウ: 幼稚園教育研修会において、基本的なしつけのあり方や集団行動について研修を行なった。

**6 平成22年度基本事業の成果指標の達成状況及び要因**

基本的なしつけや集団行動が身に付いた園児の割合は、平成21年度に比べ2ポイント上昇し、目標値を1ポイント上回った。この要因としては、6つの公立幼稚園ごとに保育内容を工夫したり、連絡帳を使って家庭と連携を図ったりしたことが考えられる。

**7 平成23年度基本事業の取組方針**

ア: 幼稚園における特別支援教育の推進  
 イ: 幼稚園教諭研修会の充実  
 ウ: 幼・保・小の連携研修会の充実  
 エ: 公立幼稚園長の管理運営能力向上

**8 平成24年度に向けた基本事業の課題・方向性**

・特別支援教育を推進するために、個別支援ファイルの作成・活用を図る。  
 ・幼稚園教諭の資質向上を図るため、研修会の内容の充実を図る。  
 ・小学校との連携を、計画的に推進する。



基本事業No.	4-1-7	基本事業名	高等学校教育の推進	基本事業 主担当課	国分中央高校
---------	-------	-------	-----------	--------------	--------

1 基本事業の目的、取組み方針					
①基本計画期間における取組み方針（総合計画書より）					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習環境等の改善・充実を進め、高度資格取得のための環境を整備する。</li> <li>・上級学校への進学、就職指導の充実を図る。</li> <li>・小学校・中学校との連携をより強化する。</li> </ul>					
②対象	・市立高校の生徒 ・学校の施設、設備	③意図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門性豊かな人材に育つ。</li> <li>・心身ともに充実した高校生活が出来るようになる。</li> <li>・教育環境が整う。</li> </ul>		

2 基本事業の指標等の推移		◎目標達成(105%以上)		○目標をほぼ達成(95%~105%未満)				△目標を未達成(95%未満)	
①成果指標名	単位	②成果指標の測定方法	③数値区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度 (目標年)
A 高度資格取得者数	人	学校評価	成り行き値	390	390	390	390	390	390
			目標値	405	410	420	430	440	450
			実績値	447	534	797	761		
			達成率	110%	130%	190%	177%		
			結果	◎	◎	◎	◎		
B 「学校生活が楽しい」と回答した生徒の割合	%	学校評価(アンケート調査)	成り行き値	85	85	85	85	85	85
			目標値	85.0	85.5	86.0	86.5	87.0	87.5
			実績値	85.0	87.0	84.0	91.0		
			達成率	100%	102%	98%	105%		
			結果	○	○	○	◎		
C 卒業率	%	学校要覧	成り行き値	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0	93.0
			目標値	94.0	95.0	95.0	96.0	96.0	97.0
			実績値	92.0	94.0	90.5	94.4		
			達成率	98%	99%	95%	98%		
			結果	○	○	○	○		
D 就職・進学率	%	学校要覧	成り行き値	86.0	86.0	86.0	86.0	86.0	86.0
			目標値	88.0	90.0	92.0	93.0	94.0	95.0
			実績値	86.0	85.0	96.2	95.4		
			達成率	98%	94%	105%	103%		
			結果	○	△	◎	○		

3 基本計画期間における基本事業の目標設定の根拠
<p>卒業率、就職・進学率は100%が理想であるが、平成24年度までに卒業率97%、就職進学率95%を目標としたい。また、高度資格取得者数は生徒数(900人)の2名に1人を目標としたい。</p> <p>学科再編に伴い、平成23年度1クラス、平成24年度1クラス、平成25年度1クラス減になる。平成25年度までに合計3クラスの減になるが、目標値の設定はそのままとする。</p>

4 平成22年度基本事業の取組方針	5 平成22年度基本事業の取組方針の達成状況
<p>ア:就職氷河期を乗り切るために、就職支援員を活用して積極的に新規企業開拓に取り組む。</p> <p>イ:求人情報を正確に把握するために、ハローワークとの連携を強化する。</p> <p>ウ:新設学科に対応した施設・設備の整備計画を策定する。</p>	<p>ア:引き続き就職支援員を活用した結果、多くの企業等の雇用情報が収集できた。</p> <p>イ:就職支援員とハローワーク担当者の連携が図られ、リアルタイムに求人情報を収集できた。</p> <p>ウ:教育委員会全体の年次計画に基づく整備計画を策定した。</p>

6 平成22年度基本事業の成果指標の達成状況及び要因
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高度資格取得者数については、実績値は平成21年度に比べ36人減少したが、目標値を331人上回っている。その要因としては、教職員の資格取得への意識の向上に伴い、生徒の資格取得の意欲が高まったことが考えられる。</li> <li>・「学校生活が楽しい」と回答した生徒の割合については、実績値は平成21年度に比べ7ポイント上昇し、目標値に対しても4.5ポイント上回った。その要因としては、部活動の参加率が高まるなど、生徒が学校生活全体を楽しんでいることが伺える。</li> <li>・卒業率については、実績値は平成21年度に比べ3.9ポイント上昇したが、目標値に対しては1.6ポイント下回った。その要因としては、進路変更や家庭の事情等による転学・退学者がいたためである。</li> <li>・就職・進学率については、実績値は平成21年度に比べ0.8ポイント減少したが、目標値に対しては2.4ポイント上回った。その要因としては、経済不況により、21年度と比べ就職率が7.6ポイント増加し、進学率が8.4ポイント減少した。</li> </ul>

7 平成23年度基本事業の取組方針	8 平成24年度に向けた基本事業の課題・方向性
<p>ア:就職支援員を活用して(情報収集・企業訪問等)、積極的に新規企業開拓に取り組む。</p> <p>イ:求人情報を正確に把握するために、ハローワークとの連携を強化する。</p> <p>ウ:安心安全な教育環境の整備を図る。</p> <p>エ:新設学科に対応した施設整備を、年次計画に基づいて進める。</p> <p>オ:小・中学校との連携をより強化する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き就職支援員を活用し、就職率向上を図る。</li> <li>・高度資格取得のために、実習環境等の整備を行う。</li> <li>・上級学校への進学のため、進路指導(小論文指導等)の充実を図る。</li> <li>・耐震診断の判定結果・補強計画を踏まえて、校舎の改築を行う。</li> <li>・スポーツ健康科を充実するために、施設・設備の整備を進める。</li> <li>・国分中央高校の生徒を確保するために、一日体験入学・本校主催の学校説明会を行い、生徒に本校の特色を紹介するなど情報提供を行い、市内外の中学校との連携をより強化する。</li> </ul>

新体カテストで県平均を上回った種目数	H21		H22	
	男	女	男	女
国分北小学校	4	6		
青葉小学校	5	4	3	2
木原小学校	1	5	4	7
川原小学校	2	2	1	2
国分小学校	5	0	4	2
向花小学校	1	0		
上小川小学校	5	5	1	
国分西小学校	5	3	3	2
国分南小学校	4	7	3	3
平山小学校			1	1
塚脇小学校	5	4	8	7
天降川小学校			1	1
溝辺小学校	4	3	4	5
陵南小学校	5	4	5	2
竹子小学校	8	5	3	1
横川小学校	6	4	5	5
安良小学校	1	4	5	6
佐々木小学校	3	6	0	2
牧園小学校	4	7	5	7
中津川小学校	7	5	8	4
万膳小学校	5	4	7	6
持松小学校	7	4		
高千穂小学校	4	2	3	5
三体小学校	2	2	4	0
大田小学校	1	4	6	4
霧島小学校	5	2	1	7
永水小学校	2	7	3	3
富隈小学校	2	2	5	2
宮内小学校	1	2	5	3
小野小学校	5	5	0	0
小浜小学校	5	6	2	4
日当山小学校	6	2	1	0
中福良小学校	3	3	2	1
福山小学校	0	0	3	4
牧之原小学校	3	4	8	4
国分中学校	4	5	8	8
木原中学校	3	0	4	6
国分南中学校	1	1	8	8
舞鶴中学校	1	1		
溝辺中学校	1	1	3	4
陵南中学校	6	4	6	7
横川中学校	0	2	1	1
牧園中学校	4	2		
霧島中学校	5	4	2	6
隼人中学校	2	3		
日当山中学校	5	3	2	4
福山中学校	5	4	6	4
牧之原中学校	0	0	0	0
和駒分校	0	0		
平均種目数	3.361702128		3.662650602	
割合	42%		46%	

※ 小学校は5年生 中学校は1年生

※ 小学校は5年生 中学校は1年生